



主力商品
最後まで使えるエコボトル

○本社所在地: 東京都千代田区

○事業概要: 日用品の製造・販売・輸出入/アイディア製品の企画・販売・キャラクター・ライセンス パテント等の無形資産の企画/食品・菓子・清涼飲料水の企画・製造・販売・輸出入・医薬部外品・化粧品及び美容健康機器の企画・製造・販売・輸出入

○常時使用する従業員: 22名(2025年3月期)

○現在の売上高: 38億円(2025年3月期)

○法人番号: 2010001117633

○Web: <https://www.plusoneplus.jp>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
青木 尊利

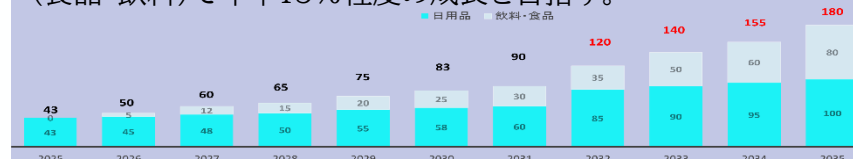
【未来に語り継がれる企業を目指して】

当社は「新商品開発」こそが企業存続のための条件であるという前提に立った日用品開発メーカーです。年間300アイテム以上の知財を有する新商品を企画・開発し、主に100円ショップ向け商品を販売、現在1,000アイテム以上を導入しております。昨年から飲料カテゴリーにも新規参入を果たしました。日本の未来と世界で戦うためにも、日本人らしさと日本人が伝承してきた文化的な強みを生かし、メーカーサイドから全世界のお客様に驚きと感動をもたらす新規事業に取り組んでまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2032年の売上高100億円達成に向け、新たに非プラスチック製品（食品・飲料）で年率15%程度の成長を目指す。



課題

- ・海外生産を国内生産へシフト→為替リスクヘッジ
- ・新規自社工場の立ち上げ→コスト競争力強化のため
- ・食品・飲料事業拡大に伴う販売先の開拓

売上高100億円実現に向けた具体的措置

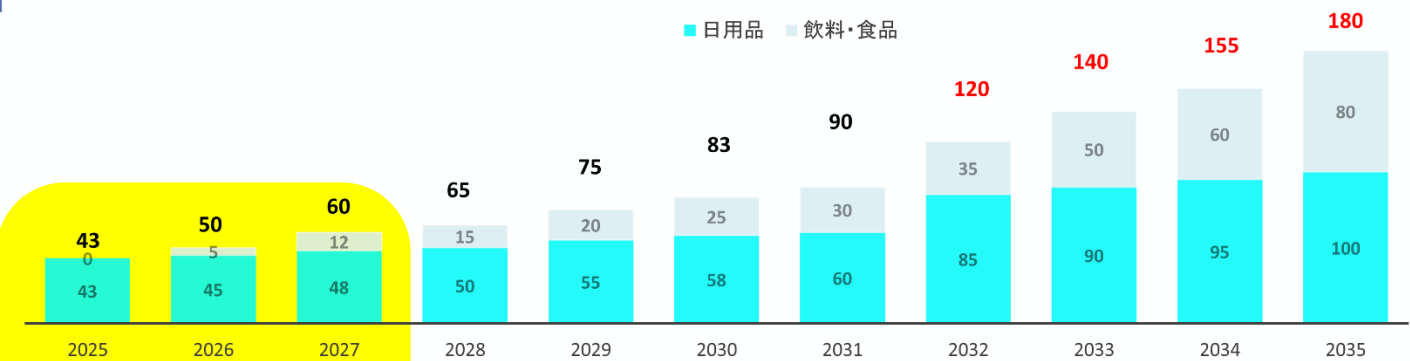
目指す成長手段

- ・知財を有する新商品企画による売り場シェア確保
- ・国際特許を含めた知的財産戦略と活用→海外進出
- ・多品種少量×知財×コスト競争力における大手企業との差別化→価格競争回避のための価格弾力性を強化
- ・上記実現のための自社工場立ち上げ
- ・M&Aによる自社の弱みを克服する経営資源の活用
- ・新事業カテゴリーの拡充（アンチエイジング領域など）

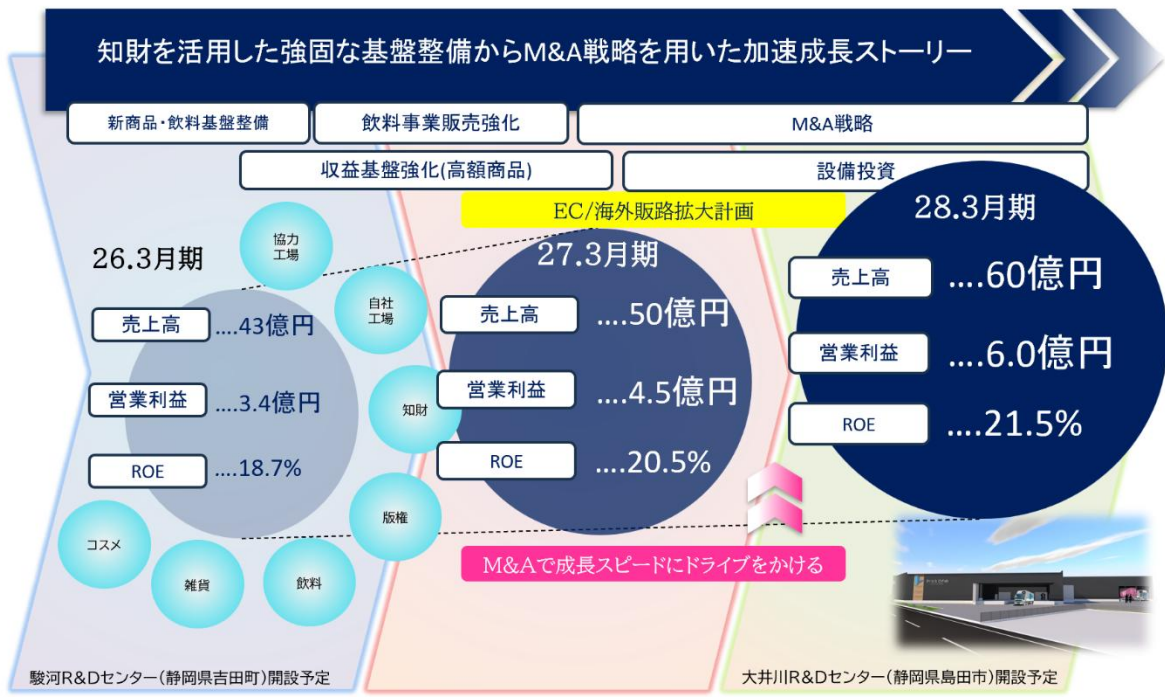
実施体制

- ・知財を有する商品開発を強化することで、国内協力工場への安定発注→安定生産の維持を図り、双方の雇用を守る
- ・INPITのeラーニング制度の活用や制度説明会への参加、知的財産管理技能検定の取得奨励
- ・既存カテゴリー領域（日用品）については、毎年売上比8%程度の設備投資を実施、今後も継続することで生産量拡大を図る。
- ・2027年度には新工場建設予定(2025年内に用地取得予定)

売上高100億円実現に向けた具体的措置



【中期3ヵ年計画】



【2032年】

100億
達成